

あね
姐さんは 三味と糸目の 結び路
みち

ゆきかた いと
行形射止む お座敷帰り
ざしきがえ

令和六年三月十三日

大中臣正比呂



あに
兄さまのお座敷はイヤ・・・、意図が緩むもの。とかは言われなかったが、

いきなりてい
行形亭のお座敷は、姐さんが来ると締まるのだ。

りゆうと
柳都の若手は後口も聞いておいて、帰りを待ち伏せして行く末を口説くのだ。

大体、その頃は地方のお姐さんは、夜もすがらでもあるまいし、いなくなる。